

# 台正人

Dai Masato

## 復興支援員

エントランスは  
こちらから



令和2年度も「安平町の復興に関する情報発信担当」の役割を担っていましたが、新型コロナウイルス感染症の影響で人を集めることができず、多くのイベントが中止になったりと、なかなか思うように発信ができない1年になりました。その一方で、もう一つの任務である追分駅前のコミュニティスペース「ENTRANCE（以下エントランス）」の運営には力を入れて行うことができ、町民から要望があった「会議室の設置」や感染対策を万全にした「町民向けイベント」を行うなど、コロナ禍においても精力的に動くことができました。また、今年度からあびらチャンネルの番組（コーナー）進行を任せていただくなど、町内の様々な魅力ある取り組みをテレビ画面を通じて発信させていただいております。多くの方に番組を見ていただけており、町を歩いていると以前よりも声を掛けられるようになり、「番組を見ていただいているんだな」と大変嬉しく思っています。

令和3年度が協力隊としての最終年度になりますが、ここまで支えてきてくださったすべての方々に恩返しの気持ちを含めて、1年間全力で活動してまいります！令和2年度も大変お世話になりました！ありがとうございます！そしてこれからどうぞよろしくお願いたします！明るく元気に楽しくいきましよう！



# 溝口 駿

Mizoguchi Shun

## 復興支援員

「震災からの復興には、まちの賑わいが不可欠」そんな思いから復興支援員として、震災復興のシンボルでもある「道の駅あびらD51ステーション」を拠点に町内外の交流を生む様々なイベントを企画・運営しています。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の流行により「菜の花さんぽ」などのイベントの中止が相次ぐ中、追分駅前にあるコミュニティスペース「エントランス」と協力して町内のアウトドア施設の紹介やキャンプ用品を販売した「あびらアウトドアインフォメーション」、道の駅を運営するあびら観光協会が実施しているグリーンツーリズムをPRする「あびらグリーンツーリズムインフォメーション」の設置などを企画しました。その他、あびら鉄道交流推進協会（おおぞら会）と連携して行った鉄道関連イベントや道の駅に展示している特急車両「キハ183・214」の公開

の補助など、町内外で活躍する各種企業・団体と連携し、イベントの企画実施を行いました。令和3年度も引き続き関わる人々との交流を意識した「次につながる賑わいづくり」を心掛けていきます。

道の駅は  
こちらから

